

社会福祉法人しおかぜ SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の精神を自社の企業活動に取り入れ、社会課題の解決による豊かな未来の実現に貢献してまいります。

2022年4月28日
社会福祉法人しおかぜ
理事長 三宅 富之

SDGsへの取り組み

SDGs



テーマ

誰もが活躍できる機会の提供

働きやすい職場づくり

フードロス削減支援で地域貢献

地域支援活動への取組

情報発信

取組事項

支援学校と交流、連携し、障がい者を定期的に雇用。75歳以上の方も受入れるなど、年齢や性別に依らず様々な人材が能力を発揮できる職場環境を整備しています。誰もが社会復帰可能で、社会に参加できる世の中を目指して、一人ひとりに活躍の機会を提供して参ります。

全職員の約8割を女性が占めており、産休や育休、時間休制度も整え、柔軟な働き方に対応しています。子育てとの両立がしやすく長く働く方が多い職場で、女性管理職の登用も進めています。引き続き誰もが働きやすい職場を目指し、支援を継続して参ります。

社会福祉協議会と連携し、フードロス削減の支援に取組んでいます。コンビニ等の商品のうち、賞味期限近のもの社会福祉協議会から受取り、民生委員を通じて地域の一人暮らしの高齢者の方等に提供しています。

地域支援委員を任命し、地域貢献についての会議を毎月実施しております。地域住民を対象としたお祭りや認知予防、健康体操といったイベントの開催、小学校の挨拶運動等を実施。地域住民と一体となって様々な活動に取組んで参ります。

下津井地域向けの広報誌『しおかぜだより』を3ヵ月に1回発行し、HPにも掲載。地域住民を対象としたイベントの開催内容や開催風景、防犯・交通安全等、地域に関する情報を住民へ届けています。Instagramでも法人の様子を随時発信しております。

2030

いつまでも住みやすい地域、住み続けることのできる地域づくりの支援を目指します

SDGsとは

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称で、2030年を処に、社会が抱える問題を解決し、明るい未来をつくるための17の目標と169のターゲットに整理したものです。

SDGsは、2015年9月に国連において、加盟国193か国の全会一致で採択された国際目標です。

